

第9回 まちづくり常任委員会

11月28日

○調査事項

(1)住民生活課所管

①幌延町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

マイナンバーカード関連事務を幌延、問寒別両郵便局の窓口での取扱を可能とするもの。5月1日からサービス開始予定。

◎委託期間は、

◎委託期間は1年間で自動更新により引き続き委託していく。

◎委託料は、取扱件数の増減により補正されるのか。

◎実績に基づき毎月支払っていく

(2)産業建設課所管

①幌延町農産物等収量減少緊急支援事業について

天候不順により、酪農経営への影響が懸念されるため、経営を営む者に対し、耕作面積、飼養頭数に応じ交付金を支給する。

◎対象者は、何戸か。

◎耕作支援対策は75戸、生産量維持対策は57戸を考えている。

◎耕作地の面積で300円、頭数で4千円の交付基準の根拠は。

◎耕作面積の300円は、中山間事業を参考とし、頭数の4千円は、予算規模も考慮して算出した。

(3)総務企画課所管

①沿岸バスのダイヤ改正等について

豊富町から増毛町までの路線を維持することが困難な状況にあり、路線維持の取組として、減便や約20%程度の運賃値上げを考えている(10月1日から)

②幌延町交流拠点基本構想策定に係る進捗状況について

パブリックコメントを実施し、年内に構想を樹立したいと考えている。幌延町公共施設等管理計画との整合性を図って策定している。◎商工会が施設に入所するのか。

◎協議を進めていきたい。◎コインランドリーを設置する前提で、スペースを想

定しているのか。また、設置台数は検討しているのか。

(4)教育委員会所管

①幌延中学校区小中一貫教育の進捗状況について

10月10日 教職員・保護者・近隣住民説明会を開催し、住民の方からセキュリティの関係、教職員からホールが寒くならないか、トイレが狭いのでは、建設中に小学生は中学校舎を使うのかなどの質問があった。基本計画は、オープンハウスで実施しており、ご意見をいただきたい。今後、検討部会で協議を進めて、3月には、基本計画を策定していくが、町民皆様のご意見を取り入れた地域の学校を造っていきたい。



第19回原子力機構報告会に出席

11月20日、22日の日程で、東京都で開催された原子力機構報告会に、西澤議長、齋賀副議長、高橋秀之議員、佐藤議員、岡田事務局長5名で出席した。

20日 稚内空港を出発し、羽田空港に到着。その後、原子力機構東京事務所を表敬訪問し、永里理事と意見交換をした。

21日13時30分から開催された原子力機構報告会に出席し、小口理事長の基調講演や大阪大学核物理研究センター長の「他分野連携で推進する標的アルファ線がん治療の社会実装」の講演を拝聴した。

その後、原子力科学研究所NXR開発センター呉田センター長から「ウランから生成する有価元素が拓く新たなユビキタス社会」、原子力科学研究所物理化学研究センターの本田マネージャーから「土壌粘土鉱物を活用した革新的なエネルギー変換材料の創製」と題した発表があった。



成果展示会場の様子

報告会の最後に呉田センター長と本田マネージャーによるパネル討論があった。報告会の会場には、原子力機構の施設が立地されている五つの町村の観光案内ブースが設けられ、特産物などが展示販売された。また、成果展示会場では、高レベル放射性廃棄物等の地層処分研究開発なども紹介されていた。